

空所補充問題の解き方

空所補充問題の形式

① 選択肢一括タイプ

→ 全ての空所について、共通の選択肢が与えられているタイプ

② 選択肢・空所対応タイプ

→ それぞれの空所について、独立した選択肢が与えられているタイプ

要確認



ステップ1 読む前の準備作業

- ①のタイプ→ 選択肢の品詞を判断する ※品詞の異なる選択肢があれば、文の構造から空所に入るべき語の役割を判断する
- ②のタイプ→ 選択肢の特徴を確認する (動詞の語形変化、前置詞、数値、接続語など)

ステップ2 「知識」(文法・語法)から選択肢をしぼる

空所の文法的役割や熟語・定型構文など、知識面から選択肢をしぼる
品詞の異なる選択肢があれば文の構造から空所を判断できる

機能語…文中で文法関係を示すための語句
前置詞・冠詞・接続詞・疑問詞・関係詞
内容語…文中で具体的に意味を表すための語句
名詞・動詞・形容詞・副詞



- (1) 空所部分の品詞は? → 文型・文の構造から考える
 - (ア) 冠詞 () → 空所には名詞が入る
 - (イ) 冠詞 () 名詞 → 空所には形容詞が入る
 - (ウ) 前置詞 () → 空所には名詞 or 動名詞が入る
 - (エ) to () → 空所には動詞の原形 or 名詞 or 動名詞が入る
 - (オ) 助動詞 () → 空所には動詞の原形が入る

こんな所に注目して…

- (2) 熟語や定型構文の一部になっていないか? → (例) so ~ that... イディオムの言い換え表現に習熟
- (3) 決まった組み合わせ(コロケーション)が問われていないか? → (例) make progress
- (4) スペルの似た単語が並んでいないか? → 語彙の問題 (例) refer, infer, confer
- (5) 文法事項がポイントになっていないか? → (例) that, which, what (関係詞)
- (6) 「多義語」に要注意

ステップ3 「文脈」から選択肢をしぼる

空所の前後の文脈(論理関係)から選択肢をしぼる



- (1) プラス(+)かマイナス(-)か?を意識
→ 文脈から空所の意味がプラスになるのかマイナスになるのかという観点から選択肢をしぼる。特に選択肢が形容詞の場合は有用。
- (2) 同意表現(言い換え) 並列表現(and, or)
→ 一定のテーマに沿っている英文は、空所の前後に同意表現が用いられている可能性が高い。同じ内容を別の表現で言い換える部分が空所になる。コロン(:)・ダッシュ(—)に着目 and/or では同種のものが並ぶ
- (3) 論理関係(逆接・言い換え・例示など)
→ 空所の前後にある「つなぎ語」をヒントにする。

ステップ4 困ったときは?

- ① 分からないときには「消去法」を積極的に用いよ!
→ 「これだけは絶対に違う」ものを排除する
- ② 選択肢中のイコール関係は排除せよ!
→ 選択肢に意味的に同じものがあればその2つは選べない
- ③ 仲間外れに要注意!
→ 「仲間外れ」になっている選択肢は正解になる場合が多い
- ④ 「分かりにくい」日本語「意味不明の日本語」の選択肢を選ばない



ステップ5 検算

選択肢を下線部に代入し、文脈の成立をチェックする